

2019年  
(令和元年)  
6月1日[土]



沖縄大学

# 同窓会報

発行

沖縄大学同窓会広報委員会  
〒902-8521 沖縄県那覇市字国場555

☎098(832)6560  
FAX 098(832)6560

第28号



挨拶する盛口満新学長



管理栄養学科で学ぶ学生たち



新旧学長慰労激励会



卒業式に臨む学生達



入学式で挨拶する名嘉紫音さん

2018年度沖縄大学卒業式・修了式式典



沖縄大学同窓会  
会長 友利 浩

## 祝辞

チューウガナビラ

ハイサイ  
グスーヨー

卒業生並びにご家族の皆様おはようございます。二〇一八年度卒業式、大学院修了式を迎えられた、卒業生、修了生の皆様おめでとうございます。

同窓生二万五千人余を代表しお祝い申し上げます。沖縄大学の創立者嘉数昇

先生は設立時に次の言葉を記しておられます。「沖縄の誇りある魂を持った若者達が指導的な立場に立つて高い視野から日本本土中央へのシグナルを発し日本全体が歩むべき方向を前方に照射してみせる、そんな有為な人材を輩出させていきたい」と決意されました。

卒業生の皆様、これから一人の責任ある社会人として世界的視野に立ち、日本国民、そして沖縄県民として真剣に考え、日々進化し挑戦し続ける生き方をして下さい。そして、願わくば

琉球王国時代の国王尚泰久が残した言葉、万国津梁の精神、いわゆる「琉球は世界の架け橋になる」を具現化して欲しいと思います。

沖縄が日本復帰したのは、一九七二年。文部省は「他の大学と合併しなさい」と通達しました。しかし、沖縄大学を存続させていくんだと決断し、立ち上がった方々がいます。

その存続闘争は二〇万人近い県民の署名を受け、更に五千名を超える県民総決起大会が開催されました。闘いはついに沖縄大学の存続を勝ち取りました。沖縄大学の「地域共創、未来共創」という教育理念の背景はそこに原点があります。

卒業生の皆様はこれから前進しようとする時、壁にぶつかり悩み、苦しみ、涙する時もあります。しかし決して逃げないで下さい。苦しくても頑張っていたら必ずあなたの理解者、協力者が現れます。

同窓会には青年部会や女性部会、久米島、宮古、八重山、関東に各支部そして台湾支部があります。それぞれ活発に活動し、母校沖縄大学をバックアップしています。昨年、同窓会が中心となって立ち上げた沖縄大学支援同志会には、同窓生以外にも多くの方々が沖縄大学を応援しようとの思いで入会しています。

今日、卒業される皆様もその趣旨をご理解くださり、入会を期待致します。卒業生の皆様、先輩方の扉を遠慮なく叩いて下さい。皆さんがこれから生きていく上で、助言や励ましの言葉をもらえることができます。

母校、沖縄大学は沖縄県の長寿県復活を願い、今年四月「健康栄養学部」が新設されます。沖縄大学は今後も教職員、後援会、同窓会が一体となり、小さくてもピカリと輝き続け、その「職分」をはたすべく前進し続けます。皆様お一人お一人にも「職分」があります。卒業後それぞれの地域、場所での「職分」を果たすべく、今日よりは明日と成長続ける人生を歩んで下さい。

新旧学長慰労激励会

同窓会は4月27日、同窓会館で新旧学長慰労激励会を開催。学長経験者はじめ、大学の役員・教職員、後援会役員、そして同窓生や地域の関係者ら100余名が出席した。



仲地前学長を慰労

主催者を代表し友利会長は、「昨年、仲地前学長は60周年事業を成功裏に終えた。多くの事業をなされたが、沖縄の長寿復活を担う管理栄養士を育てる新学部を設立した功績は大きい。沖縄と共に歩むという『地域共創・未来共創』の理念を実現するために先頭に立って頑張ってください。我々は仲地前学長が築いた基盤をしっかり守り、100年大学を目指して前進していきたい。」



盛口新学長を激励

盛口新学長には、二万五千を超える同窓生がついている。自信をもっていろんなことに挑戦して頂きたい。いかなる時も我々は盛口学長をバックアップし、小さくてもピカリと輝き続ける大学を共に創っていききたい。仲地先生に感謝の乾杯を、盛口先生に愛情の「エールの乾杯を」と挨拶した。

仲地前学長は沖縄大学での10年を振り返り「特に最後の5年間は大学発展の時に学長として用いてくれたことに感謝している。沖縄大学で過ごした日々を胸に刻み、100年大学を目指して今後も出来ることがあったらやっていきたい」と述べた。

盛口満新学長は、桜井、加藤、仲地と歴代学長の素晴らしい姿を見ることができたと、「これくらいその後を追いかけるかだが、幸い副学長、教務部長、学生部長は力強く、一人ではできないことも皆でやればなんとかなるだろう」と述べ、宮古島の民謡を独唱した。

新年祝賀会



新年祝賀会

沖縄大学同窓会新年祝賀会が2月2日(土)午後6時から同窓会館で行われた。会は棚原勝也氏(QAB報道部専任部長)の司会で進められ、友利浩会長、長濱正弘理事長、仲地博学長、嘉数昇明後援会長と挨拶が続き、同学長は「沖縄大学同窓会には大変お世話になっている。大学創立60周年事業にはまとまったご寄付をいただき、チャリテイゴルフ大会、ピアノコンサートの収益金を寄付し、個人の同窓会員からも次々と寄付をいただいた。同窓生の温かい気持ちに応えら



金城フサ子琉舞研究所による「かぎやで風」

れる大学づくりをしたい。私も大学に赴任して10年目。これを節目として学長を3月には辞任します。新学長は盛口満先生が内定しており、どうぞ盛口を支えて下さるようお願い致します。私もまた4月から一元職員になるが沖縄大学に心を持って、出来るボランティアをやりたい。同窓会の皆さんと一緒にやりたいと思うのでよろしくお願ひします」と述べた。

この後、乾杯の音頭を金城正弘大学同窓会顧問、金城フサ子琉舞研究所による「かぎやで風」、沖大エイサー部「新風」のエイサーが会場を盛り上げた。

沖縄大学4号館竣工式



4号館竣工式

沖縄大学は3月19日(火)、4号館の竣工式を行った。式には長濱正弘理事長、仲地博学長が参加。来賓を代表して県保健医療部部長の砂川靖氏が挨拶を行った。

続いてテープカットを長濱理事長、仲地学長、山代寛副学長、砂川靖氏、アト技研(株)代表取締役の竹光秀費氏、(株)りゅうせき建設代表取締役の城間祥進氏、国場自治会会長の渡嘉敷正彦氏が行った。

4号館は、沖縄県で初めてとなる管理栄養士養成の健康栄養学部の専用ビルで、講義室、解剖実験室、調理室など、最新の設備が導入されている。

嘉数昇先生胸像除幕式



嘉数昇先生胸像除幕式

沖縄大学は18年11月26日、本館同窓会館前のホワイエで創設者嘉数昇先生胸像の受贈・除幕式を行った。

胸像は創設者のご子息・嘉数昇明沖縄大学後援会長から寄贈で、嘉数学園が琉球政府から設置認可されたのが56年11月26日のため、この日の開催となった。

式には同窓会会員や大学関係者など30余名が参列。仲地博学長は「嘉数先生は戦後の混乱期に教育の必要性から嘉数学園を設立した。沖縄大学60周年のこの機に創設者の胸像を設置し、その志を再確認すると共に100年大学を目指していく」と抱負を述べた。

# 2019年度 沖縄大学・大学院入学式

2019年度沖縄大学・大学院入学式が4月2日、沖縄大学体育館で挙行された。今年度より新たに開設した「健康栄養学部」の新入生も加わり、3学部、大学院合わせて632人が入学の認定を受けた。

式では学部、大学院それぞれの入学申請と認定が行われ、在学生から歓迎のスピーチが行われた。在学生スピーチは英語で上原聖、志堅原有喜、仲村慧の3人と、中国語で平良まなみ、田中悠斗、国吉桃加の

3人が楽しく、ためになるリレートークを繰り広げながら始まる学園ライフを期待させた。

続いて新入生を代表し健康栄養学部管理栄養学科の名嘉紫音さんが、「私たちは大学という恵まれた環境のもとで地域や沖縄、そしてこれからの日本を担う者として社会に貢献し、求められる人材となれるよう、学業はもちろん、サークル活動やボランティア活動など、何事にも積極的に励んでいきたいと思えます。ま



入学式、学生達を迎える



新入学生達



祝辞を述べる知念覚副市長

この後、城間幹子那覇市長（代読・知念覚 副市長）と、嘉数昇明後援会会長が来賓祝辞を行った。

た、今年度から健康栄養学部管理栄養学科が新設され沖縄の抱える健康問題を様々な視点から解決、改善に導き、沖縄大学の新しい歴史を築いていきたい」と力強く述べた。

これを受け盛口学長が「人生というのは複雑です。これからの大学生活でいろいろな出会いがあり、悩みや葛藤にも出合うでしょう。それが将来どんな意味を持つているのか、それは誰にも分かりません。ですから何か迷いを持った時、今の自分に少しでも距離を置いて考えてみる」ことを勧め、「一緒に健闘していきましょう」とエールを送った。



前学長 仲地 博

この3月沖縄大学での勤務満10年となり、ちょうど節目と思い学長職を卒（お）えることにいたしました。

ひと昔前のことになりましたが、沖縄大学に就職する前年創立50周年を祝うパーティーには私も一非常勤講師として出席をしました。県内外から多くの賓客も顔をみせ盛大なものでした。新崎盛暉理事長（当時）に対して「伸びる大学の勢い

## 新旧学長挨拶

を感じます」と話したのは、客の一人として主催者に対する挨拶であったことも正直ありました。率直な感想でもありました。

それから10年、沖縄大学は順調に発展しました。本館・体育館の完成、国場第二駐車場・アネックス共創館の取得、ラーニングコモンズの整備と施設の拡充が進みました。文部科学省の研究プランディング事業に



新学長 盛口 満

4月から仲地先生に代わり、沖縄大学の学長に就任することになった盛口です。私は小さいころ、海岸で貝殻を拾うことに魅せられたのをきっかけに、生き物のことを追いかけることを人生の目標としてきました。

もともとは埼玉で高校教員をしていたのですが、南の島の自然にあこがれ、2000年に沖縄に移住し

ました。そして、こども文化学科開設時に声を掛けられ、2007年以降、理科教育の担当者として沖縄大学の教員をしています。

これまで沖縄大学には、新崎盛暉先生をはじめ、桜井国俊、加藤彰彦、仲地博など、そうそうたる方々が学長の座をしておられました。それらの方々に比することなど、到底できない

選定された大学は、県内で沖縄大学だけです。教員採用試験は、現役・過卒を含め40人の大台にあと一歩です。この4月には健康栄養学部が発足しました。

なによりも60周年を機に、10年の長期計画を定め、沖縄大学像を「地域がキャンパス、地域のキャンパス」と描き出しました。沖縄大学は地域に支持されて100年大学を目指します。このような時期に学長として用いて下さった関係の皆様へ心から感謝し、退任の挨拶といたします。

私のようなものが今回学長に指名されたことに、本人が一番驚愕しています。力不足はいなめないのですが、それでも執行部の一員として、加藤先生、仲地先生の学長ぶりを近くで拝見したことは、貴重な経験となっております。

特に仲地先生の、「沖縄大学を100年大学へ」という強い思いを引き継いでいきたいと思う次第です。どうぞ、今後ともよろしくお願いたします。

2018年度  
同窓会事業活動報告

1. 役員会開催(8回)
  2. 評議員会開催(5回)
  3. 監査・定期総会・懇親会
  4. 広報委員会(11回)
  5. 役員選考委員会(2回)
  6. 沖縄大学支援同志会総会・懇親会
  7. 沖縄大学支援同志会幹事会(4回)
  8. 沖縄大学支援同志会三役会議(6回)
  9. 沖縄大学支援同志会家賃等授与式
  10. 同窓会顧問・役員懇親会
  11. 同窓会新年祝賀会
  12. 青年部会異業種勉強会他
  13. 女性部会部会他
  14. 奨学金授与式
  15. 在学生への支援
  - ① 社会福祉士・精神保健福祉士合格者へ祝金贈呈13名
  - ② 宅地建物取引士合格表彰4名
  - ③ 同窓生子息・子女(あるいは配偶者)への入学金一部補助12名
  - ④ 沖大祭への運営補助
  - ⑤ 卒業パーティー運営費補助
  - ⑥ 沖縄大学支援同志会家賃等生活支援金授与
  16. 出張関係
- 同窓会支部総会・懇親会等

2019年度一般会計予算書(案)

2019年4月1日～2020年3月31日

項目	2019年度 予算A	2018年度 予算B	増△減 A-B
1. 会費	7,580,000	8,420,000	△840,000
2. 事業収入	1,000	1,000	0
3. 雑収入	1,000	1,000	0
当期収入合計	7,582,000	8,422,000	△840,000
前年度繰越金	5,541,412	6,540,832	△999,420
収入合計	13,123,412	14,962,832	△1,839,420

項目	2019年度 予算A	2018年度 予算B	増△減 A-B
1. 事務費	1,766,000	1,666,000	100,000
2. 会議費	900,000	1,020,000	△120,000
3. 事業費	5,910,000	6,560,000	△650,000
A 卒業生対象事業	(2,800,000)	(3,700,000)	(△900,000)
B 在学生対象事業	(2,210,000)	(2,360,000)	△150,000
C その他の事業	(900,000)	(500,000)	400,000
4. 大学への補助金	740,000	740,000	0
5. 児童福祉特別奨学金	125,000	125,000	0
6. 沖縄大学創立60周年記念事業	0	1,000,000	△1,000,000
7. 沖縄大学同窓会 創立55周年祝賀会	1,000,000	0	1,000,000
8. 特別積立金 (同窓会創立60周年記念事業)	500,000	0	500,000
7. 雑費	200,000	200,000	0
8. 予備費	1,982,412	3,651,832	△1,669,420
支出合計	13,123,412	14,962,832	△1,839,420

2018年度一般会計決算書

2018年4月1日～2019年3月31日

項目	予算額 A	決算額 B	増△減 B-A
1. 会費	8,420,000	8,000,000	△420,000
2. 事業収入	1,000	58,000	57,000
3. 雑収入	1,000	509,893	508,893
当期収入合計	(8,422,000)	(8,567,893)	(145,893)
前年度繰越金	6,540,832	6,540,832	0
収入合計	14,962,832	15,108,725	145,893

項目	予算額 A	決算額 B	増△減 B-A
1. 事務費	1,666,000	1,699,576	33,576
2. 会議費	1,020,000	708,629	△311,371
3. 事業費	6,560,000	5,419,008	△1,140,992
A 卒業生対象事業	(3,700,000)	(3,249,302)	(△450,698)
B 在学生対象事業	(2,360,000)	(1,940,000)	(△420,000)
C その他の事業	(500,000)	(229,706)	(△270,294)
4. 児童福祉特別奨学金	125,000	0	△125,000
5. 沖縄大学創立60周年記念事業	1,000,000	1,000,000	0
6. 大学への補助金	740,000	740,000	0
7. 雑費	200,000	0	△200,000
8. 予備費	3,651,832	0	△3,651,832
当期支出合計	14,962,832	9,567,213	△5,395,619
次年度繰越金	0	5,541,512	

2018年度特別会計決算書

児童福祉特別奨学金

2018年4月1日～2019年3月31日

項目	予算額A	決算額 B	増△減 B-A
1. 前年度繰越金	625,011	625,011	0
2. 特別積立金	125,000	0	△125,000
3. 雑収入	0	6	6
収入の合計	750,011	625,017	△124,994

項目	予算額A	決算額 B	増△減 B-A
1. 児童福祉特別奨学金	125,000	125,000	0
2. 需要費	0	162	162
3. 一般会計へ	0	499,855	499,855
2. 次年度繰越金	625,011	0	△625,011
収入の合計	750,011	625,017	△124,994

※需要費は奨学金振込手数料である

2018年度特別会計決算書

沖縄大学創立60周年記念事業寄付金

2018年4月1日～2019年3月31日

項目	予算額	備考
1. 前年度繰越金	1,000,000	2017年度一般会計より
収入の合計	1,000,000	

項目	決算額	備考
1. 沖縄大学 創立60周年記念事業寄付金	1,000,000	
2. 次年度繰越金	0	
支出の合計	1,000,000	

1. 同窓会創立55周年祝賀会開催
2. 同窓会奨学金の交付
- ① 在学生・卒業生の人材育成のため、奨学金を給付
- ② 児童福祉特別奨学金授与
3. 「同窓会報」発行年2回(6月・1月予定)
4. 各支部(宮古・八重山・関東・久米島・台湾)活動支援
5. 部会への活動支援事業
6. 同窓会創立60周年記念事業積立開始
7. 在学生への支援事業  
在学生の学習と各種活動のため次の支援を行う  
う  
① 同窓生子息・子女(あるいは配偶者)への入学金一部補助
- ② 資格取得支援補助
- ③ 就職活動への補助
- ④ サークル県外派遣費補助
- ⑤ 大学祭運営補助
- ⑥ 卒業証書ホルダー費用補助
- ⑦ 卒業パーティー運営補助
- ⑧ その他支援活動補助

2019年度  
事業計画(案)

### 部会活動及び活動計画

#### 青年部会

青年部会は、沖縄大学同窓会をサポートする目的で、概ね50歳以下の会員のネットワーク拡充や部会員の増員を図っています。2018年度はその趣旨のもと部会員の交流と活動を展開してきました。

8月、名護のオリオンビール工場やヘリオス酒造を訪ね、商品開発や製造工程を見学し、地域社会に貢献する企業について考察の

機会を得ました。9月には青年部会副会長の下地操氏を講師に「介護制度と沖縄県の課題と取組」について勉強会を開催。続く10月には部会恒例の観月会を実施しました。

2月の新年祝賀会には受付と進行を担当、部会員を配置し同窓会活動をサポート。年度をまたいで4月の新旧学長激励会にも同様の担当をしています。

2019年度、青年部会はその目的に沿って活動を

#### 女性部会

女性部会は結成以来20名の会員で意見交換しながら、活発に活動してきた。

2018年度は会員相互の親睦と沖縄の歴史を学ぶことを目的として、今帰仁村にあるベルラインホテルでの宿泊研修を計画し、座喜味城址・ワルミ大橋、屋我地にある塩工場・古宇利島などの島巡りを行った。

塩工場では今までに見たことのない色つきの塩があり、ミネラルも豊富とのことだった。特に古宇利島は長い間、離島であったとは

思えないほど観光が盛んで古宇利オーシャンタワーを見学したが、お土産品店や展望台は観光客でにぎわっており、島の発展は目を見張るものがあった。

夜の忘年会は、美味しい食事とカラオケで盛り上がり楽しい一時を過ごした。忘年会閉会後は各部屋に戻り、積もる話に花が咲き寝るのもつたないほど楽しい一日となった。

会員を増やし「楽しく」「実りある」活動をしていきたい。

女性部会長 謝花美佐子



女性部会



青年部会の活動のようす

継続します。毎年好評の観月会など、親睦とネットワーク拡充を図り、同窓会行事にはサポート体制を維持していく予定です。

青年部会会長 末吉 直

#### 支援同志会

2018年度当初の事業計画は、1. 生活支援、2. 学業支援、3. 県内遠隔地出身学生、4. 会員拡大、5. 会員相互の親睦と融和を図るとし、まず離島出身の1年次の支援を重点に取り組みました。

18年度は多くの同窓生、そして我々支援同志会の理念に共鳴を得られた個人・企業からの支援を頂きました。

個人会員が140名、法

支援金を元に離島出身者1年次への家賃支援ができました。18年度は募集時期も遅かった事などもあり、応募学生数は10名だけでした。

19年度は、既存会員の皆様への再度のご協力願いを行なうと共に、同志を広く募りたいと思います。初年度に家賃支援が現実に実施

できた事から、19年度は具体的な支援活動を基に募集できると考えられます。その点も念頭に置きながら、新年度の活動を実施していきたいと思えます。

同窓会の皆様も、支援同

#### 関東支部

##### 2018年度活動報告

6月 沖縄大学同窓会定期総会・60周年記念祝賀会

8月 関東支部臨時役員会・懇親会、2018年度事業計画及び新任役員について

3月 沖縄大学就職合宿の在学生及び就職職員と沖縄大学OB・OGとの交流会

##### 2019年度活動計画

###### 重点方針

昨年度の途中から役員体制強化のために支部長1名のみの体制から副支部長・事

支援同志会をご理解いただき、更なる支援の輪が広げられるようご理解、ご協力をお願いいたします。

支援同志会会長 新垣淑典



授与を受けた学生達と

##### 2019年度役員

支部長 久高直人(留任)

副支部長 仲宗根政則(留任)

事務局長 柏木孝康(留任)

副支部長 仲宗根政則



関東支部の皆さんと

# 支部活動報告及び活動計画

## 宮古支部

### 事業報告書

- 1 宮古支部総会並びに懇親会 2018年5月20日(日)、参加者20名、議題／2017年度事業報告並びに決算報告、18年度事業計画・予算書について
- 2 沖縄大学同窓会定期総会及び懇親会に参加、18年6月11日(土)、参加者／下地一美
- 3 役員会 18年8月30日(木)、議題／冠奨学金について、父母懇談会について、参加者／2名
- 4 沖縄大学理事長、後援会役員との冠奨学金の企業依頼、18年9月5日(水)、宮古一円の企業、参加者／3名、夜、沖縄大学父母会に参加
- 5 沖大推薦依頼 10月1日から7日、宮古実業高校、宮古高校、参加者：局長、進路指導部
- 6 沖縄大学宮古支部同窓会並びに後援会との新年会、19年1月9日(水)、参加者：6名
- 7 沖縄大学卒業式 18年3月14日(水)、参加者／



宮古支部の皆さん

- 下地一美
- 8 沖縄大学入学式 19年4月2日(火)、参加者／下地一美
- 9 役員会 19年4月27日(土)、参加者／2名、議題／総会について
- 10 宮古支部監査(18年事業報告並びに決算について)、19年5月31日(金)(予定)、参加者／4名

### 19年度事業計画(案)

- 重点目標 同窓生のネットワークを拡充し冠奨学金制度の周知に努める。
- 主な事業 定期総会、親睦グラウンド大会、役員会(随時)、沖大同窓会定期総会、沖大父母会、冠奨学金の依頼、沖大推薦依頼、忘年会・新年会、卒業式・入学式参加

宮古支部長 下地一美

## 八重山支部

### 活動報告

- 2018年度 4月18日(水) 第1回ゴルフ大会・波直、女子優勝慶田盛邦子、2018年度定期総会・懇親会
- 6月9日 沖縄大学同窓会定期総会・沖縄大学創立60周年記念式典・祝賀会出席
- 6月20日 役員事務引継
- 9月6日 沖縄大学保護者会(後援会) 懇親会
- 9月20日 第2回グラウンドゴルフ大会・男子優勝大浜勝利、女子優勝上唐率子
- 12月7日 第3回グラウンドゴルフ大会・男子優勝瀬名波直、女子優勝志喜屋キミエ

- 2019年
- 2月23日 交流グラウンドゴルフ大会商品準備
- 2月24日 父母会との交流グラウンドゴルフ大会・男子優勝石川修、女子優勝上唐幸子、父母会との懇親会
- 4月26日 第3回役員会、会計監査・定期総会、次年度役員について
- 2019年度活動計画(案)
- 5月31日(金) 第1回クラウンドゴルフ大会・



八重山支部の皆さん

- 2019年度定期総会・懇親会
- 5月 役員事務引継
- 6月8日(土) 沖縄大学同窓会定期総会・懇親会出席
- 8月 第1回役員会・第2回グラウンドゴルフ大会について
- 9月 沖縄大学保護者会(後援会) 懇談会 第2回グラウンドゴルフ大会
- 12月 第3回グラウンドゴルフ大会・忘年会・沖大父母会同窓会主催グラウンドゴルフ大会参加
- 2020年
- 1月 沖大保護者会八重山支部との合同役員会
- 2月 父母会との交流グラウンドゴルフ大会・懇親会
- 3月 第4回役員会
- 3月 会計監査

## 久米島支部

### 総会次第

- 司会：事務局長
- 1. 開会のあいさつ 司会
- 2. 支部長あいさつ 支部長 宇江城久人
- 3. 議案審議 議長：支部長
- (1) 議案第1号 18年度事業経過報告について
- (2) 議案第2号 18年度決算及び監査報告について
- (3) 議案第3号 19年度事業計画(案) について
- (4) 議案第4号 19年度予算(案) について
- 4. 閉会のあいさつ 支部長 吉永博之

- 18年度事業経過報告
- 4月1日(日) 沖縄大学入学式津波副支部長参加
- 4月25日(水) 支部定期総会・懇親会13名参加
- 6月9日(土) 沖縄大学同窓会定期総会・沖大創立60周年式典 吉永副支部長、大城事務局長参加
- 8月30日(木) 沖縄大学保護者懇談会、父母交流会 宇江城支部長他6名参加
- 19年
- 1月29日(火) 支部新年会 10名参加
- 3月14日(木) 沖縄大学卒業式 宇江城支部長参加



久米島支部の皆さん

- 19年度事業計画(案)
- 4月1日(日) 沖大入学式 津波副支部長参加
- 4月27日(土) 沖大新旧学長激励会 宇江城支部長、吉永副支部長、大城事務局長参加
- 5月12日(日) 定期総会・懇親会、パークゴルフ大会
- 9月 沖縄大学保護者懇談会、父母交流会
- 12月 第2回役員会 パークゴルフ大会・新年会について
- 1月 パークゴルフ大会・新年会
- 3月 沖大卒業式

人物シリーズ  
活躍する  
同窓生 ⑰

室伏 長子さん

こども文化学科  
2011年卒業



この人物シリーズは、同窓生の社会的活動を紹介するとともに、同窓生同士のネットワークを広げること、在学生へのメッセージを通して沖縄大学との絆を深めたいとの趣旨で企画されました。

沖縄大学に進学したきっかけは？

高校3年の夏に地元神奈川県で加藤彰彦教授(当時)と出会い、こども文化学科一期生として沖縄大学へ進学しました。入学当時は教員志望でしたが、今は教員ではない仕事をしています。

在学中に得たことは？

ノートテイクサークルに入ったことで情報保障としての「みえる化」サポート



を知りました。聴覚障がい学生の耳代わりとなり、講義で話している内容を要約

筆記するのですが、音声情報以外で伝える方法を得られたのはとても大きいです。またサークル内は多様性があって、個を大事にしながらい想いを分かち合う、協働の関係性がありました。そこで私の価値観は育まれました。あと、在学中ではないですが、卒業後に障がい福祉の現場で仕事をした経験も私に気づきをくれました。

どんな気づきか？

ひとりひとりが個性豊かで才能もあって、みんな主人公で。ただそれが「ちよつとしたこと」で発揮できなくなる状況で「もったいないこと」も多いなど。その滞りに働きかけて、巡りを良くする働きかけを自分らしい形でしようと思つたのです。大切なことを大切にできる社会は優しくてあったかいだろうな。そこをもとに今は仕事をしています。

今の仕事は？



みなさんは「講演会に参加したけど、あとで何の話をしたかが思い出せない」「話し合いで意見を出し合うけど、噛み合わない」「頭の中にある考えや想いがまとまらない」。そんな経験はありませんか？ それをきいたり、かいたり、はなししたりしながら「みえる化」して改善していくのが私。「コトバグラフィッカーちよこ」です。

仕事内容は、グラフィックレコーディング(話し合いや講演会をイラストや文字で可視化する手法)や、場づくり・組織開発のお手伝い、相談やアイデアの聴き役など多岐にわたります。「なにそれ？」と言われる仕事ばかりですよ。仕事は関わる人との間で生まれていて、私自身が商品

となる、フリーランスの働き方をしています。

そのほかには？

教員にならなかった私ですが教育活動もしています。不登校、発達障がいといったワードを目にするようになった昨今。既存のまなび方でない方法を必要とする子どもたちがいます。彼らと多様なまなびを共に育む場「多様なまなびカレッジSCHOOL」がっこう」をオープンしています。

何かメッセージは？

様々なものをかけ算しながら自分の仕事と未来をつくることのできる今です。自分を生かして生きていけるよう、お手伝いできることがあればなんなりと。



文芸

「邪馬台国は  
沖縄だった」



屋良幸助

1967年短期大学  
2部商経科卒

最近出版された木村正昭（琉大名誉教授）の本のタイトルである。なんと確信に満ちた言葉であろう。読み終わって深く感動した。博学であられる。近年の大地震をすべて予測された。専門は地球科学、なかでも海洋地質学という分野のようだ。

なぜ、邪馬台国に関心を持たれたのか。本の中から引用しながら紹介する。

海洋調査船「科学一号」に乗船して、東シナ海を航海していた時、中国の調査員が「日本の昔の王様は沖縄にいたのではないですか」と言われた。『魏志倭人伝』にあります。「それは卑弥呼のことですね」と

問うと、明解にそうだと云う。他の研究者たちも頷いていたようだ。

琉球大学に戻ってから、漢文で書かれた『魏志倭人伝』を読み、研究して邪馬台国の王は沖縄にいたという結論を持ったという。邪馬台国の位置に関する考察を行い一九九二年に、徳間書房から『南海の邪馬台国』を出版した。

木村博士は琉大に留学している中国の学生達と『魏志倭人伝』に書かれたルートを当時の歩数、船の速度などに基づいて調査されたという。

『魏志倭人伝』といわれる文献は、独立した本ではなく、中国『三国志』中の「魏志」その巻三十「東夷伝」の中の「倭人の条」のことを示すようだ。『三国志』の項は、日本は弥生時代の末期で、倭での邪馬台国の女王、卑弥呼が君臨していたと伝えられている。江戸時代から今日まで「邪馬台国」について、どのように論じられてきたのか。日本経済新聞の「春秋」欄に載っている。今まで「夢想」として纏められて、▼新井白石も悩んだ。本居宣長も大いに首をひねった。

明治になってからは学者たちの議論が一段とかまびすしく、謎解きに憑かれた郷土史家や考古学ファンは今も数知れない。

女王・卑弥呼が始めたという邪馬台国の所在地論争である。▼罪作りなのは古代中国の史書『魏志倭人伝』であろう。なにしろその記述は女王の国への道程がはやふやだ。南へ南へと「水行十日陸行一月」など書いてあるから正直にたどると列島のはるか南海上に出してしまう。

先人はこれは誤記だ、方角の勘違いだと様々に解釈し、畿内説と九州説の対立に輪をかけてきた——中略——奈良県で巨大な建物が見つかった。これほど巨大な建物は卑弥呼の宮殿に違いないと畿内派は興奮気味だが、九州派はそもそも年代を疑って、やっぱり収まらない。

ワクワクする発見だが勝負あったとまでは参らぬところがあった魅力だ。——中略——果てしないロマンを感じさせるのは茫々たる時間の力だろう。邪馬台国は倭人伝が記したとおり、どこか南海の海にぼつかり浮かんでいたかもしれない。ふとそんな夢想もよぎる

長い引用になったが、南海上に出てしまふとある。今まで畿内説、九州説だけだったが、南の先には沖縄諸島がある。木村博士の説が少しでも前進できたらと思う。

木村博士は琉球近海の海底の調査も研究されている。五千年前から徐々に海底の隆起が始まり、二千年、三千年前にピークに達し、今から二千年前から沈み始めたという。南西諸島、先島諸島は地殻変動があり、地上の数多くの遺跡が水没した。現在は海底遺跡として発見されている。

それらは「行政」には遺跡として認定されていないが、科学的には十分な根拠がある。陸上でしか形成されない鍾乳洞も海底から数多く見つかった。これらのことが邪馬台国＝沖縄説を強く裏付ける証拠となる」と述べている。今や世界的にも注目されている、ユネスコも関心を寄せている。沖縄遺跡は与那国や沖縄本島北谷沖などにも点在している。私が木村博士を訪ねた時に、「近々北欧から、沖縄の海底遺跡について研究者が来ます」と話されていた。

北谷沖遺跡は、その規模は首里城の三倍。与那国の構造物は巨大な階段ピラミッドになっている。東西二百七十メートル、南北二百二十メートル、海底から二十六メートルの高さがある。

与那国の海底遺跡は二千二百年ほど前に陸上で造られ、その後、水没したものと考えられる。北谷沖海底遺跡は四世紀以降の地殻変動で水没したものと思われる。沖縄諸島は陸地も広く、これら遺跡は王国の存在を裏付ける。

倭人伝では「倭の地は温暖で冬も夏も生野菜など食べる。皆はだし」と記されている。九州でないことは明らかである。「倭人伝」には邪馬台国は女の国があり、それぞれ国名が明記されている。沖縄島には国名に当てはまる地名があり、なんと近世まで行われた間切の行政区画が七つあるが、それと一致している。この本で私が驚いたのは沢山あるが、その一つに沖縄の伝説と古事記、日本書紀の物語とは密接に関わっている、沖縄から北上して「大和」朝廷へと流れていったと考えられる。

同著はさまざまな視点から展開されており、興味は尽きない。ぜひ一読をお勧めする。

編集後記

「夢や希望に向かつて仲間と切磋琢磨しながら勉学し、求められる人材になれるよう何事にも積極的に励んでいきたいと思えます」  
去る入学式で挨拶した管理栄養学科の名嘉紫音さんの新入学生代表挨拶である。

沖縄大学に県内初となる理系の管理栄養学科が4月に開設され、高い倍率の難関を突破した81名の一期生が入学した。入学生がどの顔にも漲る覇気が感じられ、頼もしかった。

「県内で管理栄養士を養成することは、沖縄県の健康課題の解決だけでなく、長寿県沖縄の新たな食文化の発展や普遍的な貢献など学術的普及も期待できる」と、大学当局は自信のほどを見せる。

卒業生の活躍は県が掲げる「平均寿命日本一」復活に貢献し、大学の名声を高めることにも繋がるだろう。そんな期待が高まる。

沖縄大学同窓会  
広報委員会委員長  
中村盛彦

